

SUMCO株主通信

第22期 中間期 | 2020年1月1日 ▶ 2020年6月30日 |



シリコンウェーハはテクノロジーの根源

INDEX

- 01 ごあいさつ
連結業績ハイライト
- 03 特集：ニューノーマル・テレワーク
データ通信量・データセンター
- 05 市場環境と業績見通し
- 06 会社情報・株式情報・株主メモ

株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結会計期間における半導体用シリコンウェーハ市場は、米中貿易摩擦等の地政学リスクやコロナ禍による世界経済の停滞にも拘わらず、前半は総じて強い需要となりました。

このような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により、顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、コスト改善により損益の改善にも努めてまいりました。

昨今、コロナ禍の世界経済に与える影響が懸念されており、市場環境の動きを慎重に注視してまいります。当社グループでは、引き続き需要増が見込まれる最先端品の技術開発の推進による製品の差別化を図るとともに、その需要に合わせた継続的な設備増強を進めることにより、顧客要求に応じていく所存です。

2020年12月期の中間配当につきましては、当期における利益水準、次期以降の見通し、設備投資に係わる資金需要および内部留保の状況等を総合的に勘案し、1株当たり18円、連結配当性向31.2%とすることとしましたのでご報告します。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼CEO 橋本 眞幸

株主の皆様には平素より当社へのご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

当上期の半導体用シリコンウェーハは、最先端半導体およびテレワークの需要にも支えられ、前期に比較して緩やかな回復をいたしました。このような環境の中、当社は、300mm最先端高精度シリコンウェーハの増強投資による減価償却費の増加もあり、前年同期比では減収減益となりましたが、営業利益231億円、親会社株主に帰属する純利益168億円を計上することができました。

この結果、自己資本比率は2019年12月末比0.6%改善し52.8%、D/Eレシオは0.49と0.01改善し、中期的な目標としていた自己資本比率50%以上、グロスD/Eレシオ0.5倍以下を達成しました。

今後の最先端半導体の需要に備え、また顧客の要求に応えるべく最先端高精度ウェーハの技術開発を進めながら、歩留改善、原単位低減、生産性向上等のコストダウンを推進し、体質強化とともに収益の改善に努めてまいります。

株主の皆様には、今後も引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役 副会長 CFO 瀧井 道治

SUMCO VISION

1. 技術で世界一の会社
2. 景気下降局面でも赤字にならない会社
3. 従業員が生き活きとした利益マインドの高い会社
4. 海外市場に強い会社



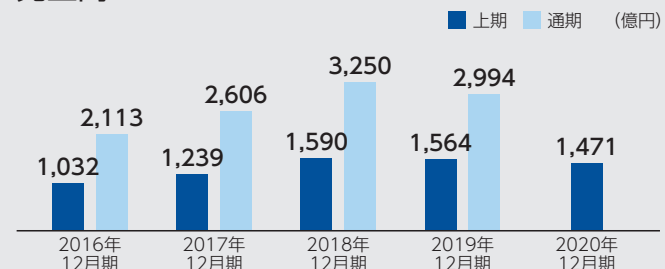
代表取締役 会長兼CEO
橋本 眞幸

代表取締役 副会長 CFO
瀧井 道治

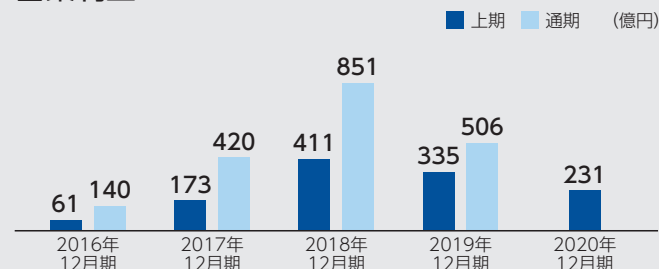
連結業績 ハイライト

(注) 日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。

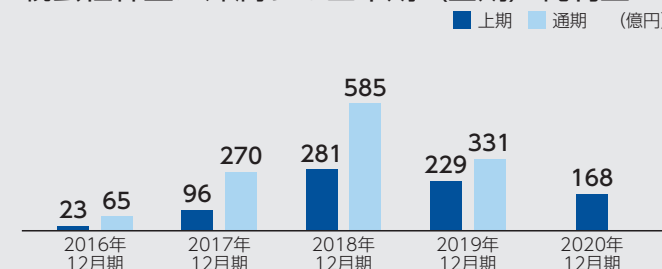
売上高



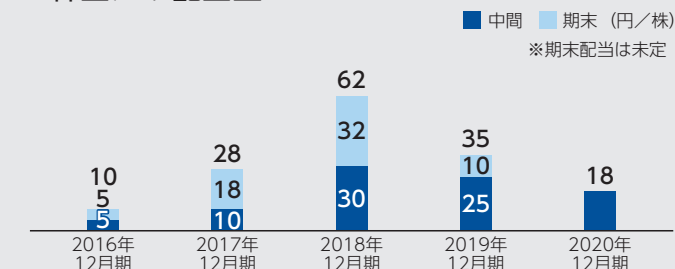
営業利益



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



1株当たり配当金



テレワークの普及

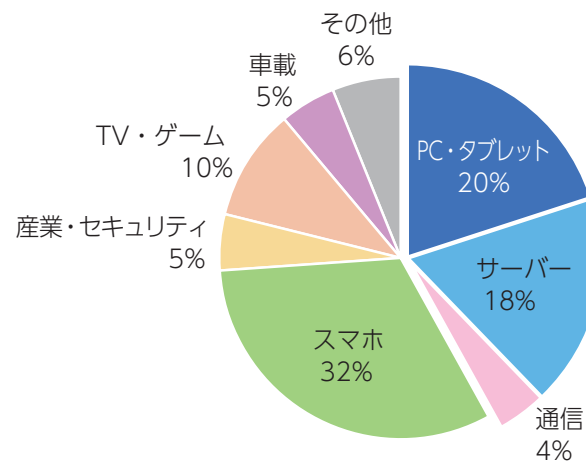
- 新型コロナウイルスへの感染症対策の一環として、世界中で在宅勤務(テレワーク)が急速に普及しました。
- コロナ禍終息後も、「ニューノーマル」として定着することが予想されます。
- テレワークに必要なのは、PC・通信機器と大量のデータを保存するサーバーで、最先端の300mmシリコンウェーハが使われています。(図1)

テレワーク人口とPC向け
新規300mmウェーハ需要

- コロナ禍以前の世界のテレワーク人口は、ホワイトカラーの2割の3.9億人と想定しています。*1)
- 上記をベースに、テレワーク増加人口をA:2割増、B:5割増の2つのケースで試算しました(図2の①)
- 新たにPCを購入することで、新規300mmウェーハ需要が創出されると予想しています(図2の②)

*1) 国連統計と国際労働機関統計よりSUMCO推定

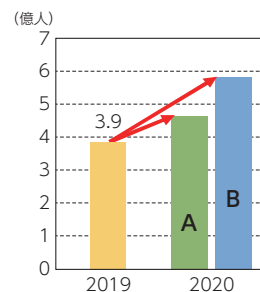
図1. 300mmウェーハの用途別構成比(デバイス金額)



【出典:SUMCO推定】

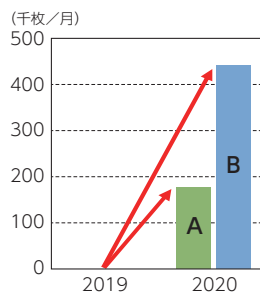
図2. テレワーク人口と新規ウェーハ需要予想

①テレワーク増加人口
A:2割増で+0.8億人(台)
B:5割増で+1.9億人(台)



【出典:SUMCO推定】

②新規ウェーハ需要
A:2割増で+180千枚/月
B:5割増で+440千枚/月



(注) ウェーハ需要は300mm換算

データ通信量・データセンター

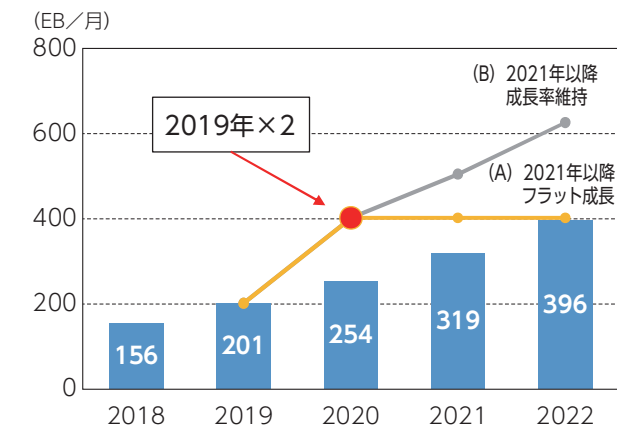
世界のデータ通信量は急増

- 2020年、インターネットのデータ通信量の従来予想は254EB/月でした。
- テレワークの普及等で、通信量需要予測を2年先取りし、2020年は、2019年の2倍の約400EB/月の通信量が想定されます。(図3:赤●)

◆ニューノーマル

- Web会議
- オンライン授業
- オンデマンド配信
- ライブ配信
- クラウドゲーム

図3. 世界のデータ通信量予想



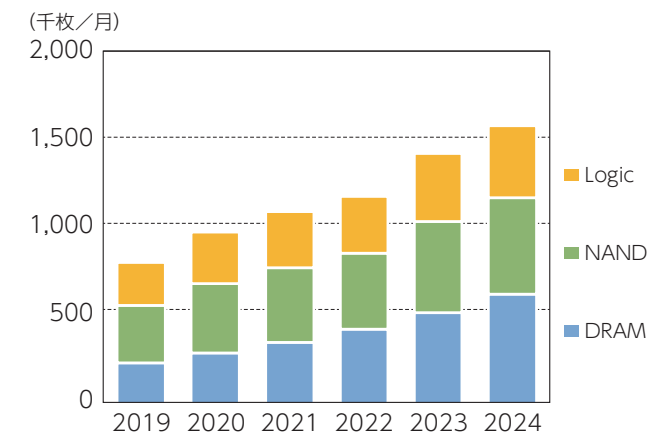
【出典:各公表データよりSUMCO推定】

データセンター向け
300mmシリコンウェーハ市場

- データ通信量の急増によって、データセンター向けのシリコンウェーハ需要は着実に増加します。
- サーバー向けには、高性能Logic (MPU) が要求されており、メモリー (NAND・DRAM) と併せて最も成長する分野と期待されています。(図4)



図4. データセンター向けウェーハ市場予想



【出典:SUMCO推定】

市場環境と業績見通し

2020年度上期
(1-6月)
市場環境

2020年度上期
(1-6月)
事業成績

今後の見通し
2020年度3Q
累計(1-9月)

2020年度上期における半導体用300mmシリコンウェーハ市場は、米中貿易摩擦等の地政学リスクやコロナ禍による世界経済の停滞に拘わらず、回復基調となりました。また、200mm以下の小口径ウェーハの需要も、緩やかな回復となりました。なお、新型コロナウィルス感染症については、テレワークの普及、一部の顧客で安全在庫積み増しの動きもあり、マイナス影響はほとんど見られませんでした。

上記のような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により、顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、コスト改善により損益の改善にも努めてまいりました。
この結果、2Q連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,471億円、営業利益231億円、経常利益226億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は168億円となりました。

2020年度3Q(7-9月)の半導体用300mmシリコンウェーハ市場は、短期間の調整は予想されるものの、5Gの伸長やテレワークの普及等により、総じて安定した需要を見込んでおります。また、200mm以下の小口径ウェーハは、世界経済成長鈍化の影響により、民生・車載向けを中心に需要の軟化を予想しております。
このような市場環境のもと、2020年度3Q累計の業績見通しについては、為替レートを107.7円／ドルとし、下記の通り予想しています。

図表1. 営業利益増減分析(2019年度上期→2020年度上期)

(単位: 億円)			
	2019年度上期	2020年度上期	増減
売上高	1,564	1,471	▲93
営業利益	335	231	▲104
為替 (円／US\$)	110.5	108.5	▲2.0

(単位: 億円)

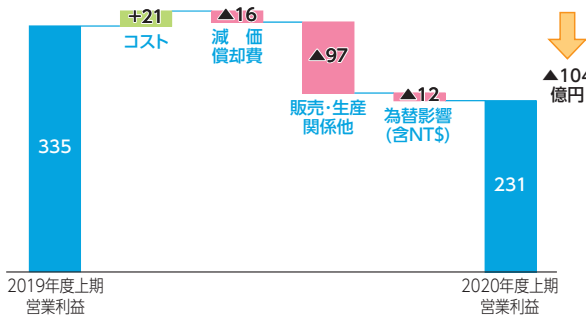


表1. 2020年度3Q(1-9月)累計連結業績予想

項 目	2019年度3Q累計実績(1-9月)	2020年度3Q累計予想(1-9月)	増減
売上高	(億円) 2,285	2,201	▲84
営業利益	(億円) 424	311	▲113
経常利益	(億円) 412	296	▲116
親会社株主に帰属する四半期純利益	(億円) 281	213	▲68
1株当たり四半期純利益 (円)	95.9	73.0	▲22.9
為替 (円／US\$)	109.6	107.7	▲1.9

注) 業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および、合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

会社情報

会社概要(2020年6月末現在)

商号	株式会社SUMCO
本社	〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 Tel : 03-5444-0808 https://www.sumcosi.com/
設立年月日	1999年7月30日
資本金	138,718百万円
従業員数	連結8,180名 単体4,027名
IRお問い合わせ先	広報・IR室 : 03-5444-3915

取締役(2020年6月末現在)

代表取締役 会長兼CEO	橋 本 眞 幸
代表取締役 副会長	瀧 井 道 治
代表取締役 社長兼COO	降 屋 久
代表取締役 副社長	平 本 一 男
取締役	加 藤 茜 愛 *
取締役(常勤監査等委員)	吉 川 博
取締役(常勤監査等委員)	藤 井 淳 郎
取締役(監査等委員)	田 中 等 *
取締役(監査等委員)	三 富 正 博 *
取締役(監査等委員)	太 田 信一郎 *
取締役(監査等委員)	不 破 章 雄 *

* 社外取締役(独立役員)

株式情報

株式情報(2020年6月末現在)

発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式総数	291,181,239株
総株主数	82,794名

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	Tel : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主メモ



第22期 中間期 株主通信

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会議決権行使株主確定日 毎年12月31日 配当金支払株主確定日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年 6月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページ(https://www.sumcosi.com/)に掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード:3436)

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウェーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ <https://www.sumcosi.com/>

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

- 証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお手続きおよびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記電話照会先までご連絡ください。

■ 単元未満株式の買取請求について

単元(100株)未満株式の買取請求につきましては、株主さま口座のある証券会社にお申し出ください。
(証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。)

新型コロナウイルス感染症について

- 当社は、従業員とその家族の健康と安全を最優先し、各事業所では、検温とマスク着用等、日々の健康管理に細心の注意を払い、操業を継続しています。
また、東京本社と国内営業所は完全テレワークを実施しております。
- 4月に、不足が懸念された衛生製品のお役に立てるよう、工場内のクリーンルームで使用していた防塵服等を、所在地の自治体に寄贈しました。

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel:03-5444-0808

<https://www.sumcosi.com/>

見通しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点で当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定(当社の主観的判断に基づくものを含みます。)に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。



環境保護のために、
大豆インクを
使用しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。